

水土里レポート

投稿月日	令和6年7月16日
タイトル	身近な用水路の水質 出前授業
水土里レポーター名	水土里ネット吉井川下流 前田明彦

令和6年7月2日に当改良区管内の岡山市立雄神小学校5年生が田んぼの学習をしており、その中で身近な用水の水の水質について出前授業を行いました。

担任の先生には、事前に樋ノ口用水・新堀川及び秋芳川の3か所の水を採水してきてもらいました。

水質の検査(パックテスト)でどれくらいの汚れがあるか、児童達には水道水に混ぜ物をして各班調べてもらい。先生には、採水した水を調べてもらいました。



- 左 用水路の水(樋ノ口用水)
- 中 新堀川の水
- 右 秋芳川の水

水質検査の結果

用水の水がきれいだとわかりました。
学校の前と学校の裏の川の水は用水路より汚れていることがわかりました。

水質検査の後に児童たちがテストをした水に混ぜたものを発表しました。身近な肥料・上靴を洗う洗剤・レモンや漂白剤を入れていると児童に伝え、少しでも環境に悪影響を与えることを勉強してもらい、きれいな川を守ってくださいとお願いしました。

終わった後に追加で教室の中で飼っているメダカの水をみんなで調べた。



教室のメダカの水槽



メダカの水の検査にみんな大興奮

テストの結果、メダカの水は、少し汚れているのがわかりました。

そのあとに、農林水産省の職員より食料自給率の話がありお米をもう一口食べれば1%あがるんだよ。だからみんな食べてねと伝え、農業のあり方や大切さを学ぶいい勉強が出来ました。
※ジュニア農林水産白書(農水省提供)



農水省職員による自給率問題に元気よく手を上げる児童たち